

安全・品質トピックス

(2024年度4Qでの不適合・H E・災害の振り返り)

東京電力ホールディングス株式会社



1. 2024年度の主な発生状況

- 不適合全体は昨年度に続き今年度も減少傾向で、
設備の不具合は減少したが、品質に係わる不適合
やH Eは減少していない。
- 災害も今年度は昨年度並みで、減少していない。
- 作業点検や教育などの取り組みにより、事前の
リスク抽出・対策不足による事象は減少したが、
現場での安全意識・行動の問題による不適合や
災害は発生している。

2. 安全・品質を意識した振る舞いの向上に向けて

現場での安全・品質を意識した振る舞い（行動）に弱さがあることから、引き続き以下のポイントを踏まえ、作業点検等で抽出したリスクに対する防護措置の確認・改善や、作業関係者との対話を通じて、安全意識・行動、何かあったら立ち止まることの重要性を繰り返し訴えかけて下さい。

○作業点検等で抽出したリスクに対し、作業員任せとならないよう、具体的な手順や注意事項等を要領書（手順書）に落とし込む。

○作業準備・実施段階で、作業関係者の振る舞いを確認し、安全意識・行動に改善すべき点があれば指導する。

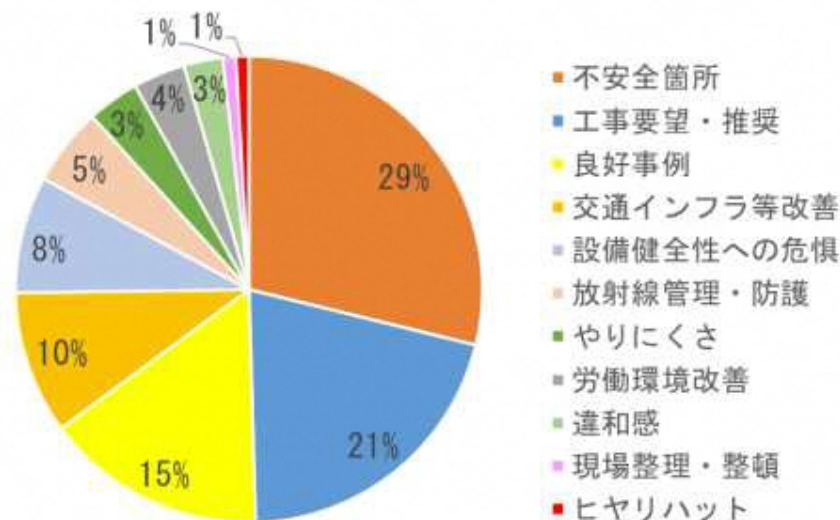


3. 協力企業CR活動について

当社及び協力企業の方々も一丸となって、現場の「危険の芽」や「異常兆候」を発見・報告して、作業安全・品質向上に向けて継続的な改善を行うことを目的に、昨年3月より『現場の気づき』などを協力企業CR※として、直接メールで報告できる活動を行っています。

※CR（状態報告）：改善活動を行うに当たっての不適合や気づきに関する情報レポートのこと

○現場気づき（企業CR）の種類別割合（2024年3月～2025年3月）



○安全衛生推進協議会で紹介した良好な現場気づきの一例

各部門や協力企業による取組みの良好事例等	
<p>工具使用中の違和感および不具合の発見</p> <p>カッター工具を使用中に違和感を感じ、作業を中断して空動作させたところ機器が動作しなくなったため、当日の作業を中止した。動作不具合の原因は部品のゆるみであり、今回の事例をもとに使用前点検時のポイントに追加した。</p> <p>→現場での違和感を捉えて立ち止まった良好事例！</p>	
<p>各部門や協力企業による取組みの良好事例等</p> <p>通路階段の拡張による安全性向上</p> <p>作業前の現場総点検にて、通路階段の最下段が狭く階段下に側溝があることを発見し、足を挫く可能性があったため、作業開始前に最下段を拡張して安全に通行できるよう改善した。</p> <p>→作業前にリスクを抽出して現場を改善した良好事例！</p>	

4. 安全行動実践キャンペーンの実施

「階段では手摺りを使用する」ことを通じて、福島第一で働く全員が高い安全意識を持って行動してもらおうよう、4月中旬～5月末にかけて『安全行動実践キャンペーン』を行っています。

(1 F 社員は1月下旬～3月末に先行実施)

○実施目的

- 1 F 安全ルール「階段では手摺りを使用する」を全員で徹底的に実践し、1 F の安全ルール遵守や安全文化醸成に真剣に取り組む。

○実施内容

- ・ 入退域管理棟 1 階へのぼり旗の設置
- ・ 入退域管理棟などの構内主要建物階段への注意喚起シールの貼付け

□入退域管理棟 1 階での声掛け運動の実施



